

BTB 創薬研究センター、SMBC ベンチャーキャピタルから資金調達を実施

株式会社 BTB 創薬研究センター（代表取締役 大菊 鋼、Takashi Kiyozumi、所在地：京都府京都市）は、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社が運営管理する投資事業有限責任組合を引受先として、転換社債型新株予約権付社債による資金調達を行いました。今回の資金調達は昨年度の京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs からの投資、および京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）からの投資に続くものです。

当社は2020年の創業以来、非オピオイド疼痛化合物 ENDOPIN の開発、および RNA のスプライシング標的の低分子化合物を希少疾患の治療およびがん免疫療法の適応での開発を進めています。本資金調達を通じ、リードアセットの ENDOPIN の臨床開発を推進してまいります。

SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 投資営業第三部（大阪）部長 村岡 弘治氏のコメント：

オピオイドクライシスのような医療及び社会的課題、希少疾患やがんなどの医療現場で喫緊のアンメットメディカルニーズにこたえるべく BTB 社プログラムの開発を支援できることを誇りに思います。

株式会社 BTB 創薬研究センター 代表取締役 大菊 鋼のコメント：

今回の資金調達により当社のパイプライン開発の促進、特に非オピオイド疼痛化合物の ENDOPIN の臨床開発を加速化できることを大変うれしく思っています。グローバルで大きな社会課題となっているオピオイドクライシスに対し、一日も早くオピオイドに置き換わる有効な疼痛薬の開発に邁進してまいります。

SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 について：

SMBC ベンチャーキャピタル株式会社は「絆」を投資理念に、明るい未来を共に実現できる、人々の生活向上・社会的課題の解決を目指す成長企業への資金提供を行っています。また、投資先の経営支援に積極的に取り組み、一体となって企業価値向上を推進します。経営者との信頼関係を構築し、SMBC のネットワークを活かして投資先と大企業・人材・専門家との橋渡しに尽力します。

株式会社 BTB 創薬研究センター について：



当社は、2020年6月京都大学の萩原正敏教授の創薬プログラムをもとに設立され、First-in-Classの非オピオイド疼痛薬 ENDOPIN の研究と開発、また、RNA の異常スプライシングを標的とした希少疾患やがん免疫療法を適応とした低分子化合物の開発を行っており、革新的な新薬を生み出すことを目指しています。当社は創業以来、日本医療研究開発機構（AMED）や京都府のグラントに採択され、約50億円の公的資金の支援を受けています。

代表取締役：大菊 鋼、Takashi Kiyozumi

設立日：2020年6月29日

ウェブサイト：<https://btb-newdrug.co.jp/>

このリリースに関するお問い合わせは info@btb-newdrug.co.jp までお願いいたします。